

## 大会スケジュール

第1日目 10月21日(土) 会場：大阪経済大学A館(フレアホール)

▶12:00～ 受付

▶13:00～13:30 オープニングアトラクション・開会式

\*\*\*\*\*

▶13:30～15:15 基調講演

テーマ：人生100年時代の医療・介護とは  
～ 地域医療を28年実践している医師から次世代に向けての提言～

講師：長尾 和宏  
〔 医学博士・(公財)日本尊厳死協会副理事長  
映画「痛くない死に方」原作・医療監修 〕



\*\*\*\*\*

▶15:15～17:00 シンポジウム

テーマ：100年時代のこれからを語る

コーディネーター：森 詩恵 (大阪経済大学 副学長・教授)

シンポジスト：小島 美里 (認定NPO法人暮らしネット・えん 代表理事)

津止 正敏 (立命館大学特任教授)

厚生労働省 老健局長 (調整中)

樋口 恵子 (NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長)

\*\*\*\*\*

▶18:30～20:00 交流会 会場：大阪ガーデンパレス

\*\*\*\*\*

## ごあいさつ

第42回高齢社会をよくする女性の会全国大会 in 大阪 実行委員長 植本 眞砂子

全国大会は、今年で42回目です。この間、高齢社会における「介護の社会化」と「ジェンダー平等」の視点から、地域に根差したまちづくり政策を提言していく運動が連綿と引き継がれてきました。次世代にどう活動をつないでいくのが当面の大きな課題です。

3年を超える新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的な規模での流行)は、これまでの医療・介護体制が、現場の頑張りで支えられていたことを浮き彫りにしました。少子化・晩婚化・晩産化が進み、医療・介護の担い手不足は待ったなしの状況です。特に、女性に多い非正規労働者の増大などに加え、高齢女性・単身世帯の増加など世帯構成も変化しています。

必要とされているところに社会的なケアの手が十分に届き、医療と介護の連携により「地域で安心して生が全うできる」社会を創り上げていくために明日を語り合いましょう！是非ご参加ください。